

「2025年度 飛騨古川フレッシュレフェリースクール」活動報告

5月3日～5日に2泊3日で行われたU-13の交流大会の試合を利用した研修会を実施しました。今年は、愛知県から10名、茨城県から1名の審判員が参加しました。3級に昇級してから数年の中学生から大学生が参加しています。

今年のテーマは、「見る」です。自分たちで「何を見るのか」「どこから見るのか」を改めて言語化し、大会に臨みました。また、運営スタッフの一員として選手ファーストの気持ちを持って取り組むことも目標の一つとしています。その中で、審判員としての技術や知識を発揮し、担当する試合をより良いものにするために参加審判員全員が取り組んでくれました。

実技研修では、1日に2試合の主審を行いました。試合ごとにインストラクターから指導を受け、みるみる成長する姿を見ることができました。また、夜の研修会では、3日にはJFA審判委員会・秋江部長から「上級審判員を目指すための心構え」をお話いただきました。また、4日にはJFA審判委員会・扇谷委員長から審判員への激励がありました。

大会が無事に終了するとともに、参加した審判員それぞれが成長できたという実感を得て研修を修了することができました。今後、それぞれの審判員が各地域やカテゴリーでさらに成長することを期待しています。

